



・西南学院大学・

図書館報

No. 5 2

1972年2月5日発行

福岡市西新6丁目

西南学院大学図書館

書庫増築に思う

図書館長 清田正喜



図書館書庫増築工事の外郭はほぼ出来あがったが、その内装については昭和48年に7層の書庫が完成するはずになっている。現在、年間購入する図書・雑誌の総部数は約2万

5千冊に及んでいる。とくに昨年は法学部に大学院が設置され、また本年度は商学部計画されて以来、図書・雑誌の購入数はいちだんと増加してきた。したがって現有の書架ではもうあふれるばかりであって、このままではいわゆる「ツンドク」にもなりかねない状態になってしまった。よしんば新書庫が出来ても収蔵能力は約30万冊であるから、10年を越したころからいっぱいになってくる。それからどうすると問われても名案は浮かばない。

思えば、昭和29年に建てられた、いまの電算機センターになっている建物、それは当時ではまことにしょうしゃな装いをこらした現代風の図書館であった。そのあまりの広さと大きさに目をみはったものであった。図書は1階と2階とで十分であったから、3階では床面いっぱいにごぎを敷き延べて全学院教職員のクリスマス・パーティが開かれたほどであった。それが大学の充実にしたがって、しだいに手狭になり、13年後には5階建の新築に移転しても、すでに現状のような始末になってしまっているのである。

これからはますます日本の学術文化は高まってゆく。それにつれて図書・雑誌の発行率もあがるばかりである。しかも情報は多方面にわたって増大する。近ごろは目に見えないフィーリング情報というものさえ問題にされるようになってきた。こうした進展する情報化社会の中にあって、大学図書館はどうあらねばならないか。はんらんする情報の処理法がテーマになってくる。また学問が横につながってきて、自然・社会・人文を一貫とした図書館は単に一大学では背負いきれなくなってくる。ここに大学図書館の相互協力ならびに大学の研究と教育に対する大学図書館のあり方とその改革とが課題にされてくるのである。学術情報が量的にはもちろん、その形態や流通過程が複雑化すると、しぜん業務の機械化を計らなければ事務は停滞してしまう。だから能率向上のためには情報ネット・ワークを確立した情報センターの計画が必要である。これとともに大学図書館は教育のための学習図書館でなくてはならない。将来の方向としては電算機を活用して、各部門の情報を入手し研究の便を計ることであるが、まず手はじめとしては業務のスピード化である。一方、自主的研究のために参考図書室を設けることであろう。

以上が書庫増築にあたって希望する諸点の一端である。

辞書の使いかたシリーズ (No.8)

経済学関係の辞典紹介と使い方について

経済学部教授 原 田 三 喜 雄



社会科学である経済学を学習するさい大事なことは、まず経済学の基礎理論をしっかりと身につけ経済学的な思考方法を養うことである。そして、経済学の辞書を常備して概念や用語を

正しく使用できるように日頃心掛けることである。これは、今日のように膨大かつ雑多な経済情報が氾濫する時代にあって、これに溺れ惑わされないようになるための基本的訓練といってよい。

前置きはこれくらいにして、次に学生諸君にとって適当とおもう辞書類を紹介しよう。これらは大体本図書館に備わっているものである。

○経済学大辞典（編集委員代表中山伊知郎、東洋経済新報社、1955年）。わが国で現在刊行されている最も大きな経済学辞典。大項目主義をとるいわゆる“読む事典”である。難をいえば、刊行後年月がたっているので、新しい研究領域が手薄であること。

○経済学辞典（大阪市立大学経済研究所編、岩波書店、1965年）。多数の執筆者を動員して、各項目をそれぞれの専門家に分担させているので記述内容の質的水準も高い。項目選定がややマルクス経済学の方に多い。

○経済学辞典（青山秀夫・都留重人・脇村義太郎編、平凡社、1963年）。マルクス経済学と近代経済学の両分野にわたり、多くの項目を網羅しているので便利。ただし、質的水準はやや低い。

○経済辞典〔新版〕（編集委員代表中山伊知郎、青林書院新社、1969年）。日本経済ならびに世界経済の現実的諸問題について理解するのに便利のようにとの方針で作られている。しかし近代経済学の立場が強い。

このほか、経済学のそれぞれの専門領域における辞書類も多い。たとえば、体系金融辞典（高垣寅次郎監修、東洋経済、1966年）、統計学大辞典（中山伊知郎、東洋経済、1962年）、資本論辞典（久留間鮫造・宇野弘蔵ほか編、青木書店、1966年）、農業経済経営辞典（東畑精一監修、日本評論社、1970年）、日本経済史辞典〔新版〕（経済史研究会編、1954年）、体系金融実務事典（小泉明・堀出仁編、青林書院、1971年）、貿易実務辞典（上坂西三著、青林書院、1964年）等々。

ハンデな辞書類としては、岩波小辞典・経済学〔第三版〕、同・経済用語〔第三版〕、経済辞典（中山・金森・荒編、有斐閣、1971年）、経済新語辞典（日本経済新聞社、各年度刊行）があり、時事経済用には便利であるが、高度の内容は望めない。英語関係には、英和貿易産業辞典（藤田仁太郎編、研究社、1961年）経済用語をも含む、経営英語辞典（野田信夫編、ダイヤモンド社、1971年）、経済用語和英辞典（オリエンタル・エコノミスト編、東洋経済、1967年）がある。

最後に、前号で商学部の高田先生も言われたように、辞書というものは便利ではあるが、またその限界もある。この点をよく認識してじゅうぶん活用してほしいと思う。

最近の図書館界における

コンピュータ導入について

司書長 山下 和 夫

以前は、図書館ということばかり連想するものといえば、薄暗い書庫の中の、ほこりにまみれた本の山と、ロビーいっぱいのケースに並んだ、手垢のついたカード目録、それに本と首っぴきで、黙々と分類や目録作業をしている図書館員の姿くらいであったろう。そこでの仕事といえば、すべてが手作業で、およそ機械化などもっとも縁遠い場所であったに違いない。ましてや、いかにコンピュータ時代とは言いながら、図書館の仕事がコンピュータで処理されるなど、昔を知る者にはおよそ想像もできないことであろう。ところがである。現在、図書館界で一番関心を持たれているのは、このコンピュータによる機械化の問題なのである。

世はあげて情報化時代。ますます増加していく文献の洪水の中で、図書館がその機能を生かすとするれば、従来の手作業から脱皮して、情報の蓄積・検索を機械で処理するほかに手がなくなってきたのである。

昨年10月、わたくしは、すでにコンピュータを導入している京都産業大学と南山大学の両図書館を視察する機会を得た。京都産業大学では、図書雑誌の発注から受入、目録の作成、それに貸出に至るまですべてコンピュータで処理していたし、南山大学では、発注受入と貸出のコンピュータ化がなされていた。

いずれも機械化されているのは、まだ事務的な面が多く、情報検索の処理はこれから手をつけるとのことであったが、このような状況から見て、やがて近い将来、図書館はコンピュータの導入により、根本的な変革がなされるであろうことが期待されるのである。

図書館勤務16年間で

か え り み て

就職課長 伊藤 治 生

私が初めて本学図書館に勤めるようになったのは、昭和30年で、旧図書館（現学研の古い建物）が新築されてまもなくでしたが、その頃では西日本でも珍らしい全面的開架式閲覧制度が採用されていた図書館でした。蔵書冊数もまだ5万冊ぐらいでしたが、現在活躍中の山下さん、杉本さんという



両先輩をはじめ20代の若い者が大部分で、何となく新興の意気に燃えているといった感じでした。

私は当初は奉仕係を受持っていましたが、その頃の入館者は、携帯品をすべて閲覧室の中に持ちこめるしくみになっており、その代り退館時に受付係がカバンの中や所持品を検査しなければなりません。まだ女子学生が比較的少ないころでしたが、女子学生のカバンのぞ

きは何となく気がひけて赤面したものでした。

その頃の校庭はまだ松が多く、冬の夕方などは落葉をかき集めてヤキイモをして食べたような楽しい思い出もあります。

昭和35年、木村館長の時に本学で文部省認定の司書・司書補の講習会を開催したことも懐かしい思い出です。丁度、夏休みの時期でしたが、数百名の受講生を本学に迎え、館員一同夏休みを返上し、大わらわでお話をしたものでした。受講生の下宿さがしに坂口のぶさんと炎天下の西新界隈を歩き廻ったようなこともありました。

坂本館長の時代に現図書館が竣工し、その移転作業に大勢の学生アルバイトと共に全館員が精いっぱい励んだこと、清田館長のもとに国連寄託図書館の開館式が行なわれたことなど思い出はとうてい筆舌に尽きないものがあります。ともあれ16年間、図書館の皆さまには本当にお世話になりました。心から感謝いたしますと共に、今後の図書館の発展をお祈りいたします。

“十六年はながしみじかし風花に。 治生

〈 ニ ュ ー ス 〉

図書館委員会

46. 11. 25 学生利用規則一部改正について etc.
 46. 12. 16 国連寄託図書館その他の施設について etc.
 46. 1. 20 学研雑誌費、次号補充費の移管について etc.

司 書 会

46. 10. 27 昭和47年度図書費予算申議案について

職 員 会

46. 12. 3 ①参考図書室の計画について、
 ②各係打合会の報告 etc.
 47. 1. 7 ①試験期開館延長、
 ②電算化計画 etc.

研修・出張

46. 10. 16 私立大学図書館協会西地区部会（於：立命館大学）山下司書長出席
 46. 10. 29 私大地区九州研究会（於：太宰府天満宮社務所）杉本、今永司書出席
 46.11.17～19 全国図書館大会（於：岐阜県）清田館長出席

人 事 異 動

46. 11. 1 付 伊藤課長補佐、就職課長として配置換え

卒業生の図書館利用について

本学の卒業生は、諸定の手続きを経て、図書館を利用することができます。現代は、まさに、国際化・情報化時代です。実社会に出られましても、世界的、幅広いマクロ的視点と、狭隘、専門化したミクロ的視点とのミックスしたものが、要求されると思われます。そこで、公私における、研究、調査、自己啓発、人間形成に、是非、"知識の宝庫"たる図書館を積極且つ効率的に利用されることを願って止みません。

▶卒業生の利用手続

I 利用希望者は、特別利用者規則の定めるところにより、下記に掲げるものを提出しなければなりません。

- ①特別利用許可願 1通
 ②卒業証明書または勤務先証明書 1通
 ③上半身名刺型写真 1葉
 ④手続料金 100円（1か月）

II 手続を完了すると、特別利用者証（1か月間有効）が、交付されます。

III その他は、「学生利用規則」が準用されますか

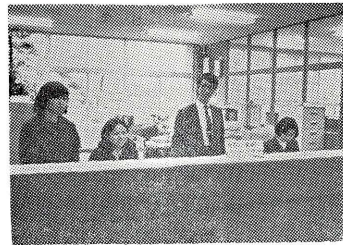
ら、入館手続・貸出手続・貸出冊数・期間などすべて在学中のものと変わりません。

どうか、今後とも十分ご活用ください。

× × 奉 仕 係 よ り × ×

学期末試験もいまやたけなわで、毎日、満席の掲示が出されるほどの盛況です。

係では奮闘していますが、ロッカーは不足ぎみですし、利用者の皆さんに十分な指導と援助もできず、たいへんご迷惑をおかけしていることと思います。できる限り質問にお答えしていますが、一階に分類目録・著者名



目録・書名目録を設置していますので、どうぞご利用ください。

近頃では、女性の服装も色々様々。ミニあり

マキシあり、またコートかワンピースか判断がつかないこともあり、"コートはロッカーに入れてください"と注意して、恥をかくのもしばしばです。至るところに掲示していますので、掲示物にも目をむけてください。

（河内）

告 知 板

○ 春休長期貸出

2月1日（火）から実施。冊数は3冊以内。期限は、卒業予定者は2月末日まで、それ以外の人は4月26日まで。

○ 春休中の開館予定

2月12日（土）から4月15日（土）までの期間、午前9時から午後5時で（土曜日は12時まで）開架閲覧室を開き、学習室は閉室します。ただし、
 ・ 2月22・23日（火・水）は入学試験のため閉館。
 ・ 3月13日（月）～18日（土）は在庫調査のため開架閲覧室を閉室、その間学習室を開きます。

〔あ と が き〕

学年末試験も終りに近ずき、まもなく春休みを迎えるようとしている。この号にも、辞典の使い方シリーズのNo.8として、原田(㊟)先生に経済学関係の辞書を紹介していただきました。このシリーズも号を重ね、皆さんに少しは役にたっていると思います。これからも続けて行きたいと思いますので、どのような事を紹介してもらいたいか、御意見をお寄せ下さい。（田中）

自 昭和46年6月 ～ 至 昭和46年12月

- (敬称略)
- 愛知県経済研究所より 愛知県主要産業の動向と
中小企業の経営
- 味の素株式会社より 味の素株式会社社史 1
- 秋吉台科学博物館より 秋吉台科学博物館報告
第7号
- 青森県統計課より 青森県県民所得統計
- 朝雲新聞社より 日本の安全保障 1971年版
- 朝日新聞社より New ABR No. 1
- 朝日出版社より ゲーテと医学
- 地方財務協会より 内務省史 第1巻～第4巻
- 地質調査所より 地質文献目録 1965
- 中部開発センターより 中部開発センター図書目
録 昭和45年
- 電通より 第24回広告電通賞年記
- 福岡銀行より 中原嘉左右日記 第3巻
- 福岡県より 福岡県法人企業統計調査結果報告書
昭和40年度～昭和43年度 他26冊
- 福岡市より 福岡市史 第6巻
- 福島県より 福島県累年統計書
- 外務省より ラテン・アメリカ経済統合情報36号
他1冊
- 平田正敏教授より 電子計算機簿記の構造 2部
- 法務図書館より 法律図書(独文)件名目録
- 北方領土問題対策協会より 北方領土
- 法政大学より 法政大学経済学部50年誌
- 兵庫県より 労働経済白書 他1冊
- 出光興産より 日本人にかえれ 2部
- 「家」制度研究会より 最近の社会主義国親子法
- 稲村英雄氏より 理想からの報告
- International Publishersより
Modern Korea 他1冊
- 蛇の目ミシン工業株式会社より 蛇の目ミシン創
業五十年史
- 自由民主党より 公害と政治 他2冊
- いのちのことば社より パンくず牧師の例話と霊
話
- 神奈川県より 県民所得推計報告 昭和44年度
他1冊
- 関西大学図書館より 関西大学図書館蔵書目録
- 関西ゲーテ協会より ゲーテ年鑑 8・9
- 関西経済連合会より 一般消費税としての付加価
値説が企業経理に及ぼす影響に関する調査
- 関西学院大学私法学研究室より 民法総則物権法
- 柏谷広治氏より リース契約論
- 勝田三男氏より 戦争と平和の灯 2部
- 慶応義塾より 慶応義塾年鑑 昭和44年度
- 経済企画庁より 経済変動観測資料 1971 4～6
他2冊
- 木村毅教授より 自伝(上)
- 近畿大学より 近畿大学研究業績総覧 昭和43年
度・昭和44年度
- 北九州市立教育研究所より 昭和45年度 研究紀
要 第3号(6冊分)
- 北九州財務局より 北九州財務局要覧 昭和46年
版
- 建設省より 海岸統計 昭和44年度版
- キリスト新聞社より キリスト・聖霊・教会
- 神戸貿易協会より 会員名簿
- 国民健康保険中央会より 国民健康保健の実態
- 国立国会図書館より 児童図書目録 上巻 他1
冊
- 国立国語研究所より 電子計算機による国語研究
3 他4冊
- 国際文化振興会より Annuario 2部
- 国際電信電話株式会社より 国際電信電話年報
昭和45年度 他1冊
- 国税庁より 事務年報 昭和44年度
- 小松製作所より 小松製作所50年の歩み
- 厚生省保険局より 国民健康保険実態調査報告
昭和43年度 他2冊
- 熊本国税局より 熊本国税局統計書 昭和43年度
- 京都府より 工業統計調査結果報告書 昭和44年
他12冊
- 京都府労働経済研究所より 「精神薄弱」といわ
れている人たちの就業について 他2冊
- 京都商工会議所より 昭和46年度 京都府下にお
けるモデル賃金調査 他1冊
- 京都産業大学より 科学時代から人間の時代へ
- 九州大学より 九州大学付属図書館教養部分館

- 漢籍目録 他1冊
九州経済調査協会より 九州経済概観 他1冊
松井康秀氏より ロングフェロー研究入門
Ministere de La Cultureより
Charles Plisner 他11冊
宮崎県立図書館より 蔵書目録
文部省より 著作権法ハンドブック 他2冊
森和平氏より 午後五時の人生
宗像神社より 宗像神社史 附巻
長崎県立美術館より 長崎県立美術博物館館報
日本万国博覧会協会より 日本万国博覧会公式ガイド
日本大学より 日本大学研究業績総覧 17巻
日本電子計算機株式会社より コンピューターノート 1970年 他1冊
日本独文学会より ドイツ語教育の基本的諸問題
日本ゲーテ協会より ゲーテ年鑑 第10巻～12巻
NHKより NHK年報 16 他1冊
日本住宅公団より 宝台遺跡
日本開発銀行より 米国主要産業の展望
日本国際問題研究所より 緊急緩和外交
日本国有鉄道より 日本国有鉄道監査報告書
日本生命より 日本生命80年史
日本数学教育会より 寄贈図書目録
日本水産株式会社より 日本水産
農林省より 九州地域農家労働力の就業動向
岡山大学附属図書館より 蔵書目録
岡山県総合文化センターより 蔵書目録 第5巻
大阪府立産業能率研究所より 生産工場における省力化の手引き
大阪府立商工経済研究所より 国際間競争の諸問題と実態 他5冊
「歴史の研究」刊行会より 歴史の研究 第18巻～第20巻
労働省職業安定局より 昭和45年3月新規学卒者の職業紹介状況および初任給調査結果の概要
労務管理研究会より 災害補償と遺族年金の実例 他1冊
緑風会より 緑風会十八年史
沢登佳人氏より 存在と文化 第1巻～第3巻
青潮社より 北嶋雪山の生涯
生命保険文化研究所より 西ドイツ生命保険の現況 1970年末
積文館より スイスの国防と日本
石炭鉱害事業団より 石炭鉱害復旧史 2部
専修大学より 川島正次郎
社会保険庁より 事業年報 昭和44年度
白井正教授より 文学的回想
証券投資信託協会より 欧米視察団報告書 他1冊
食糧庁より 異動人口調査結果表 昭和44年米穀年度・昭和45年米穀年度
食生活研究会より パンの消費動向と企業の対応
尚友倶楽部より 貴族院の会派研究会史
主恩教会より 日本新教百年の歩み
双文社より 現代日本の文学 他4冊
総理府より 科学技術研究調査報告 他3冊
竹井機器工業株式会社より 人事検査法
天恩郷大本より 立替え立直し
東海銀行より 中部の経済 他2冊
時任正夫氏より わたしの海外旅行記
東京大学より 大学図書館と電算機 他1冊
東京学芸大学より 東京学芸大学蔵書目録 第2分冊
東京証券株式会社より 証券外史
東京都私立短期大学協会より 論文題目索引
鳥栖市役所より 鳥栖地方の宿場
東洋大学より 情報化社会の思想と生活 2部
通商産業省より 商業統計表 第1巻～第3巻
浦上清氏より 日本近代法形成過程に関する研究ノート
全国競輪施行者協議会より 参考資料
全国信用保証協会連合会より 信用保証制度の現状
全国珠算教育連盟より 珠算春秋 No.33
山口哲生氏より 燃えつきた試論
横田正雄教授より 株式会社法実務知識 3部